

午前の部 10:00～ZOOM入室受付

● 第一時限（10:30～） GAトーク「ノースライトの建築」

GAトークではノースライト建築の魅力についてJIA群馬クラブメンバーが意見交換します。

北極星信仰の達磨寺・廣瀬住職を交えてのトークセッション

住宅など窓を設ける際一般的に人気のあるのは南側・東側ですが、ノースライト（北側の窓）にも優れた点があります。そこでメンバーが自身の作品や紹介したい建築などノースライトを活かした建築を発表しながら、その魅力を探ります。

達磨寺のある高崎にはノースライトを生かした建築がたくさんあります。その特徴を見ることからスタートします。



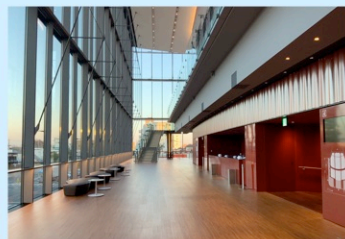
▲ 旧井上房一郎邸



▲ 群馬音楽センター



▲ 高崎アリーナ



▲ 高崎芸術劇場

午後の部 13:00～ZOOM入室受付

13:30～主催者挨拶

● 第二時限

講演「エリカ & タウト」

田中辰明

タウト研究の第一人者が語る

「エリカ&タウト」

エリカとはどのような女性だったのか？



田中 辰明(たなか・たつあき)

1940年生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業
（株）大林組技術研究所勤務。ベルリン工科大学ヘルマン・リーチェル研究所客員研究員。早大工学博士。
1級建築士。お茶の水女子大学名誉教授
（一社）日本断熱住宅技術協会理事長
主なる著書：建築家ブルーノ・タウト一人とその時代、建築、工芸（オーム社）柚木玲と共著、ブルーノ・タウト、日本美を再発見した建築家（中公新書2169）、ブルーノ・タウト、建築・芸術・社会（東海大学出版会）

● 第三時限（14:15～）

対談「タウトと小説ノースライト」

横山秀夫× 藤井浩

タウトの椅子を題材とした

ミステリー「ノースライト」

その着想とプロセスが明かされる？



横山 秀夫(よこやま・ひでお)

1957年、東京生まれ。上毛新聞記者、フリーライターを経て、1998年、「陰の季節」で松本清張賞を受賞し小説家としてデビュー。2000年には「動機」で日本推理作家協会賞受賞。『半落ち』『第三の時効』『クライマーズ・ハイ』など話題作を続々と発表。2012年の『64』は各種ベストテン1位となり、英国推理作家協会賞インターナショナル・ダガー最終候補、ドイツ・ミステリー大賞海外部門第1位に選ばれる。2019年には、建築家を主人公とする『ノースライト』を刊行した。

● 第四時限（15:25～）

フリートーク

田中氏 × 横山氏 × 藤井氏 × 上原

(主催者代表)

講演・対談では語られない

深層を参加者全員で掘り起こす



藤井 浩(ふじい・ひろし)

1955年、前橋生まれ。上毛新聞記者として主に歴史・文化を担当。文化生活部長を経て、2010年から7年間論説委員長を務めた。文化誌『上州風』副編集長として創刊にかかわる。同社の『シルクカントリー群馬キャンペーン』の企画・紙面づくりを担当。2021年から上武大学教授、萩原朔太郎研究会幹事長。著書に『誇りについて上野村長・黒澤丈夫の遺訓』『眠る男の記録』など。編著に『群馬文学全集第20巻 評論・随筆』。

16:30 閉会予定

主 催

公益社団法人日本建築家協会 関東甲信越支部 群馬地域会（JIA 群馬クラブ）

https://jia_gunma.typepad.jp/jia/



私たちは国連の持続可能な開発目標（SDGs）を支援します